

平成29年度 麻溝地区地域活性化事業交付金決定事業の概要と評価

申請事業名	麻溝公民館の花壇美化活動 【 1 】
申請団体	麻溝ガーデニングクラブ
事業目的等	<p>事業概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・麻溝公民館前にある花壇の花の植え付けと管理、土の手入れ ・年間の行事にあわせての花の補充 <p>事業の目的</p> <p>年間を通し、花壇に花が咲いているようにし、来館する方々の心を和ませる</p>
交付決定日	平成29年 5月26日
交付決定金額	20,000 円 （全体事業費 20,005 円）
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>年間を通じて花の植え付けと手入れ及び管理 年間の行事に合わせて花の補充</p> <p>自己評価</p> <p>交付金の利用により、補充花の購入ができ、工具使用で作業効率も上がり、年間通じ花が絶えることなく花壇作りができた。</p>
市 評 価	<p>1年を通して手入れの行き届いた花壇に咲く美しい花が出迎えてくれることは、公民館・まちづくりセンターに訪れる地域の皆さんにも喜ばれており、このような活動は評価できる。</p>
備 考	

申請事業名	麻溝まちづくりセンター・公民館新館における共同作品プロジェクトの推進事業 [2]
申請団体	麻溝まちづくりセンター・公民館新館における共同作品プロジェクト
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>麻溝公民館区内の保育園、幼稚園、小学校、中学校、高等学校、大学等の子どもたちが、麻溝地域をテーマにした共同作品を身近な材料である卵の殻を使いモザイク画として制作し、完成した作品をまちづくりセンター及び公民館新館に展示するための活動を推進する。</p> <p>事業の目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の子どもたちが、地域に関わりあるテーマの共同作品づくりを通して、自分たちが住んでいる地域を再発見し、地域への愛着を育むと同時に新しいまちづくりセンターや公民館への期待を抱かせる。 ・共同作品づくりを通して、地域の子どもたちのつながりを広げ深める。
交付決定日	平成29年 5月26日
交付決定金額	290,000 円 (全体事業費 290,000 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>今年度の事業は計画通りに実施することができた。協力団体への挨拶及び依頼については、各団体とも責任者が対応し、事業への積極的な理解及び協力を約束してくれた。また材料等の購入も予定通り行うことができた。3団体については今年度作品づくりを実施し、それについても十分な支援活動を実行委員会として行い、予想以上の完成をみた。</p> <p>自己評価</p> <p>今年度の事業は計画通りに実施することができ、協力団体の理解も進んだと考えられる。</p>
市 評 価	<p>本事業は協力団体からの理解・協力があり、地域の子どもたちが共同作品づくりを通して、地域への愛着を育むと同時に、地域の子どもたちのつながりを広げ深めることを目的に進められており、評価することはできる</p>
備 考	

申請事業名	地域住民による公民館での事業・活動記録事業	[3]
申請団体	麻溝公民館を語ろう	
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>平成28年度から3箇年事業を目途としての2年目の事業であり、公民館の事業・活動の様子や歴史的資料等も含めた過去から今後に向けての写真・冊子・パンフレット・動画(映像)・新聞等々の可能な限りでの資料を収集整理し、その成果品を後世に引継ぎ保存すると共に、新施設落成時の機会を捉えて公開する</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 前年度の準備期間を経て、本年度も公民館活動団体・サークル等や公民館・まちづくりセンター関連団体及びその他組織、地域への事業趣旨説明と資料収集協力依頼。 2 各種資料の収集整理及び保管と地域への公開の際の方法、内容の検討 3 月1回の編集会議の開催(臨時での複数回開催も含む) <p>事業の目的</p> <p>公民館での地域住民の活動記録を新施設落成時の機会を捉えて公開し、公民館の発展・活性化や地域住民に対する郷土愛の醸成に寄与すること</p>	
交付決定日	平成29年 5月26日	
交付決定金額	43,000 円 (全体事業費 43,088 円)	
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 事業への取り組み方では毎月2回の会議を行い、併せて麻溝公民館事務局に対し当事業への協力依頼協議も数回行った。 2. 地域に対しては公民館内でのポスター掲示、地域情報誌への掲載、更には口コミでのPR活動事業も行った。 3. 補助により、事業推進のための資料収集関係消耗品等の充実が図られた。 <p>自己評価</p> <p>公民館資料以外の資料提供の数が増えない状況にあるが、事業の最終目的である地域への公開に向けての貴重な資料が得られ、これを基に公開内容・方法等についての協議を重ねることが出来、一定の成果が生まれてきていると考える。</p>	
市評価	公民館の事業活動や歴史的資料等を収集し、整理・データ化を行い、新施設の開所時に地域への公開に向けた準備を着実に進められており、一定の評価をすることができる。	
備考		

申請事業名	つなぐ事業 [4]
申請団体	TSUNAGARI UNITED
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>1 人をつなぐ事業 児童養護施設などの子どもたちが施設退所後も地域の中に頼ったり相談できる大人を増やすために、フットボールを用いたつながり作り (月1回)</p> <p>2 知をつなぐ事業 子どもの人権や社会的養護、子育てをはじめとする子どもに関する知識を啓発するセミナー等の開催 (5月から3月まで全6回)</p> <p>事業の目的 子どもたちに真剣に向き合う大人を増やし地域の子どもたちを「見守り」「寄り添い」「支え合い」「受け止める」つながりを作ること</p>
交付決定日	平成29年 5月26日
交付決定金額	248,000 円 (全体事業費 255,130 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人をつなぐ事業 フットサルをはやぶさ学園にて実施 年12回実施 続けることで退所していく子どもたちとの関係性を作れた。 ・知をつなぐ事業 講演会を実施 年5回実施 リピート参加してくれる大人も増えてきた <p>自己評価 3年間続けてこれて、リピートしてくれる方や、カタチを変えて関わりをもってくれる人が出てきて、想いが広がっていくのを感じる事が出来た。</p>
市 評 価	子どもたちに真剣に向き合う大人を増やし、地域の子どもたちを「見守り」「寄り添い」「支え合い」「受けとめる」つながりを作ることを目的に事業を実施し、子どもたちとの関係性も築けており、参加する大人も増加しているとのことであり、評価することができる。
備 考	

申請事業名	第4回相模川鮎友釣り大会 [5]
申請団体	相模川鮎友釣り大会実行委員会
事業目的等	<p>事業概要 相模川の鮎の友釣りエリアが、これまでの高田橋下から昭和橋下まで広がったことから、従前行っていた昭和橋付近での鮎の友釣り大会を開催する</p> <p>事業の目的 ・母なる川・相模川での鮎釣りに親しむ ・相模川の雄大な自然環境に触れる ・参加者、近隣住民への憩いの場の提供</p>
交付決定日	平成29年 5月26日
交付決定金額	170,000 円 (全体事業費 544,211 円)
団体実績報告	<p>事業実績 第4回となる相模川鮎友釣り大会を開催し、午前中に鮎友釣り大会、午後に魚のつかみ取り大会を実施した。また、鮎塩焼き体験(販売)も行った。 鮎友釣り大会参加者53名 魚のつかみ取り参加103名 塩焼き体験90名</p> <p>自己評価 昨年に引き続き多くの参加者があったことは、この大会に期待する方が多いという証である。 来年度以降さらなる参加者が得られるよう実施内容等の充実を検討していきたい。</p>
市 評 価	<p>相模川鮎友釣り大会も第4回目の開催となり、当日はあいにくの空模様でしたが、多数の参加者があり、麻溝地区を代表する行事として定着してきている。 魚のつかみ取り大会も、多くの子どもの参加があり、毎年楽しみにしていただいているように思われる。 今後も多くの方々が楽しみにし、訪れる行事となるよう、さらに参加者の増加を図るよう、実施内容の充実等を検討されたい。</p>
備 考	

申請事業名	“いいまち あさみぞ”安心見守りプロジェクト推進事業 [6]
申請団体	“いいまち あさみぞ”安心見守りプロジェクト実行委員会
事業目的等	<p>事業概要 地域から孤立する人、見守りを必要とする人などに対して、地域住民全体でゆるやかな見守りと(救急、災害など)緊急時の対応や継続的・個別的な見守りなどの必要性を共有するとともに、地域福祉にかかる様々な団体・活動などを連携させて、具体的な事業を展開するもの。</p> <p>事業の目的 ・地域から孤立する人を見逃さない ・継続的・日常的な見守りが必要な方を確実に見守る ・緊急対応や専門的な支援が必要な方に対して適切な対応を行う</p>
交付決定日	平成29年 7月27日
交付決定金額	180,000 円 (全体事業費 344,143 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <ol style="list-style-type: none"> プロジェクト周知、気付き啓発事業 地域住民全体に見守りプロジェクトに取り組む必要性や、隣近所の気付きの重要性を啓発するチラシを全戸配布。(6,800 枚) ポスティング業者により全戸配布を実施。(3月) 安心グッズ作成・配布事業 緊急連絡先、かかりつけ医などを記入できるカードや災害時に利用できるグッズ(ブザー、シートなど)を安心グッズとして作成し、希望者に配布。 ・安心グッズ希望者募集チラシを作成。(7,000 枚、3月) ・ポスティング業者により全戸配布を実施(3月) ・利用者の安心グッズメンテナンスを実施(7月・1月) ・安心グッズを随時配布(新規 20 個) 外出時緊急対応グッズ作成事業 外出時のもしもの時のために、誰もが容易に携帯できる緊急連絡先カードを気付き啓発チラシに添付し(切り取り式)、全戸配布した。(6,800 枚) ・ポスティング業者により全戸配布を実施した。(3月) 講演会の開催 「健康落語」で楽しみながら健康づくりについて学んでもらうとともに、プロジェクトの取組(安心グッズ、カード)について周知を兼ねた講演会を実施した。 講師:古橋 彰氏(高座名:空巢家 小どろ) 3月17日実施、参加者 54 名、チラシ(800 枚)を自治会回覧等で周知 <p>自己評価 平成23年度から地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、自治会、老人クラブ等が継続して行うことで「地域で孤立しがちな高齢者等をゆるやかに見守る体制」がより広まっているものと感じる。今年度も昨年度に続き、外出時に携帯できる緊急連絡先カードを気付き啓発チラシに組み合わせて作成、全戸配布した。さらに高齢者サロンや民生委員の訪問時等にもこれ等の周知を図ってもらうことで、地域の多くの人の目に触れ、利用を促してもらえなどの効果を期待している。</p>
市 評 価	継続的に啓発チラシを作成し、全戸配布することにより本事業も地域住民に定着してきており、住民全体の意識向上にもつながっている。
備 考	

申請事業名	麻溝健康プロジェクト [7]
申請団体	麻溝健康プロジェクト 麻溝運動マイスター
事業目的等	<p>事業概要 北里大学の老年学博士の上出先生のマイスター養成講座を受講したマイスターの自主グループ活動であり、地域住民の介護予防活動として「麻溝生き粋サイズ」「麻溝百歳体操」等を自治会館等で実施する。</p> <p>また、活動するマイスターのユニフォームを作成し、ユニフォームを着用し活動することや、マイスターとして活動した場合のポイント付与に対して、特典をいただいている企業に対し、ステッカーを配布し貼っていただくことにより、健康プロジェクト自体を地域全体に広く周知する。</p> <p>事業の目的 地域の現状と課題を分析し、徒歩圏内で定期的に運動できる居場所づくり及び運動マイスター制度を活かして教えることによる自己効力感を高め、マイスターとして活動する事で地域住民の介護予防の活動の充実を図り、住み慣れたこの麻溝地区で安心して生活できるような礎を築いていく。</p>
交付決定日	平成29年 7月27日
交付決定金額	155,000 円 (全体事業費 160,530 円)
団体実績報告	<p>事業実績 徒歩圏内で定期的に運動できる居場所づくり及び運動マイスター制度を活かして教えることによる自己効力感を高め、マイスターとして活動する事で地域住民の介護予防の活動の充実を図れた。</p> <p>住み慣れたこの麻溝地区で安心して生活できるような礎を築いていけた。 (H30.3月末 麻溝生き粋サイズ3ヵ所、麻溝百歳体操7ヵ所)</p> <p>自己評価 体力向上が必要だと感じたタイミングでのマイスターさんとなり、自分自身の体力向上につながり、地域のための活動でマイスターの輪が広がった。Tシャツやステッカーがあることで麻溝健康プロジェクトをより広めることにつながったと評価する。</p>
市 評 価	<p>本事業の実施により、マイスター自身の体力向上につながり、地域での活動が活発に行われている。また、ユニフォーム(Tシャツ)の着用や協力いただいている企業にステッカーを貼ることにより、事業を周知することは、地域の介護予防の活動につながるものと考えられ、評価することができる。</p>
備 考	

申請事業名	麻溝地区自治会連合会加入促進事業	[8]
申請団体	麻溝地区自治会連合会	
事業目的等	<p>事業概要 地域住民に自治会の重要性を理解してもらえよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施するもの</p> <p>事業の目的 ・自治会活動の周知 ・自治会未加入者の加入促進</p>	
交付決定日	平成29年 7月27日	
交付決定金額	351,000 円	(全体事業費 468,794 円)
団体実績報告	<p>事業実績 地域住民に自治会の重要性を理解してもらえよう自治会活動を広く周知するなど、自治会の加入促進につながる事業を実施した。</p> <p>1 折りたたみごみ収集カゴの設置 ごみ集積所の美観を保つための折りたたみごみ収集カゴを設置した。 (大サイズ5台、マンションサイズ2台、中サイズ3台、小サイズ1台)</p> <p>2 ごみ集積所自治会設置看板の設置 自治会が管理している周知を図るための看板を設置した。</p> <p>自己評価 自治会活動は、地域住民の相互理解の下、活動が円滑に行われるものである。自治会活動として何が行われ、どのような効果があるのか、こうした活動を広く周知することはそうした相互理解への第一歩と考えている。こうした地道な活動を展開し、多くの住民が参加する自治会となるよう引き続き努めていきたい。</p>	
市評価	<p>当該事業については、折りたたみ収集カゴの設置及び設置した収集カゴに自治会設置の看板を設置することにより、利用者に対し自治会が管理していることを周知することで、自治会活動を理解してもらえよう重要な事業である。継続的に実施することにより、自治会加入促進につながることを期待する。</p>	
備考		

申請事業名	麻溝地区自転車・交通事故防止運動	[9]
申請団体	相模原市安全・安心まちづくり推進協議会麻溝支部	
事業目的等	<p>事業概要</p> <p>【講習会】</p> <p>10月29日(日)開催の「麻溝ふるさとまつり」会場において啓発物品を配布しながら、交通事故防止啓発活動を実施する。</p> <p>【講習会】</p> <p>11月19日(日)麻溝公民館大会議室において「セルクルの自転車安全講習会『バックパック』」を開催。</p> <p>事業の目的</p> <p>事故の実態と原因を踏まえ、地域の具体事例を取り入れた、より実践的な講習会を実施するとともに、交通事故防止啓発活動を行うことにより、自転車を含む交通事故の減少をめざす。</p>	
交付決定日	平成29年 9月13日	
交付決定金額	156,000 円	(全体事業費 160,257 円)
団体実績報告	<p>事業実績</p> <p>交通事故の実態と原因を踏まえ、地域の具体事例を取り入れた、より実践的な講習会を実施するとともに、交通事故防止啓発活動を行うことにより、自転車を含む交通事故の減少をめざした。</p> <p>【啓発活動】</p> <p>10月29日(日)開催の「麻溝ふるさとまつり」会場において啓発物品を配布しながら、交通事故防止啓発活動を実施。</p> <p>【講習会】</p> <p>11月19日(日)午後2時から、麻溝公民館大会議室において「セルクルの自転車安全講習会『バックパック』」を開催。</p> <p>自己評価</p> <p>啓発活動は地域のまつりの会場で行うことにより、より多くの方の交通事故防止意識の向上につながった。</p> <p>また、地区内の危険箇所などの具体的事例により交通事故防止の対応策を学ぶことによって、参加者が大変身近な問題として捉えることができ、交通事故発生件数が大変多い現状を認識し危機感をもって対応していく意識が醸成された。</p>	
市評価	<p>南警察署管内で自転車の関係する交通事故が増加しており、麻溝地区内でも自転車に乗車していた女子高校生が亡くなるという交通事故も発生しており、交通事故削減は麻溝地区でも課題となっている状況で、啓発活動や地域の具体事例を取り入れた講習会の開催により、地域住民の交通安全に対する知識と意識の向上が図られたことは評価できる。</p> <p>また、啓発物品として配布された反射手袋は、反射材により夜間の自動車等からの視認性を向上させるものであり、手袋ということで実用性も高いと考えられ、啓発物品として有効であったと考える。</p>	
備考		

申請事業名	原当麻自治会 活動強化推進事業	【 10 】
申請団体	原当麻自治会	
事業目的等	<p>事業概要 自治会活動の見える化により、自治会の加入促進を図る</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 自治会のスタッフベスト等を自治会の事業・行事で着用し、自治会活動の「見える化」を図る。 2 未加入世帯の多い地区などを中心に、地域に応じた効果的な加入促進策を計画的に実施する 3 賃貸住宅入居者の加入促進を図るため、オーナーや管理会社の協力を求めている。 4 自治会活動の活性化に向けて課題を抽出し、その解決策について 検討する。 <p>事業の目的 ・ごみ問題や防犯・防災など、身近な問題に対する取組を着実に進めるとともに、地域住民が安心・安全な日常生活を送る上で、自治会の活動が大きな役割を果たしていることを見える形にする ・自治会未加入世帯の多い地区などを中心に、積極的な加入促進を図る</p>	
交付決定日	平成29年 9月13日	
交付決定金額	239,000 円 (全体事業費 327,240 円)	
団体実績報告	<p>事業実績 今年度は、新規転入世帯を中心に、役員等が担当地区の未加入世帯を戸別訪問する形式で、継続的な加入促進を図ったほか、専用のごみ置場を待たないアパートの管理会社への加入依頼も継続実施した。 また、資源ごみプレートの新たな作成、個々のごみ置場の利用実態を把握するための「ごみ置場利用実態調査」の実施のほか、閉じこもりがちな高齢者を対象とした茶和会も継続して開催した。</p> <p>自己評価 今年度の新規加入は22世帯で、3年間の合計では93世帯にとどまった。目標とした100世帯には一步届かなかったが、役員が一丸となって取り組むことができたことは、数字以上の成果だと考えている。 また、ごみ置き場の改修などを通じ、自治会の活動を見てもらう機会も増え、自治会への理解もかなり深まっていると感じている。</p>	
市 評 価	3年間の計画期間の最終年の活動でしたが、3年間で100世帯新規加入の目標には届かなかったが、93世帯の新規加入があり、本事業実施により地域住民に自治会の役割を理解していただいたことと考えられる。	
備 考		